



## 未来を夢見て Season 2

2022/2/13 No. 123

卒業式まで残り24日、6年生ともみじ学級さんで授業をさせていただきます

寒い寒いと思っていましたが、3連休初日天満宮に行ってみると、梅の花がほころんでいるのを見付けることができました。毎年感じるのですが、春は静かに近づいているようです。

学校は建国記念日（2月11日）を過ぎると、いよいよ今年度のゴールも見え、卒業や進学・進級に向けた取り組みが駆け足で進んでいきます。卒業式まで残り20日あまり。コロナ感染への心配はぬぐえませんが、感染症対策に留意し、残りの学校生活を充実させていきたいものです。

先週は6年生でスフィロを使った提案授業、金曜日には職員向けの研修会も行われました。子どもたちの様子を見ると、多くのお子さんが操作に必要な基礎知識を身に付けているので、やや高い課題に対しても、友達と協力しながら解決しようとする姿勢が印象的でした。

さて、今週は15日から6年生で算数の授業をさせていただきます。今年は、紙テープを切る場面を設定し、そこから共通の問題を設定していきます。6年生の子どもたちにはそれほどハードルは高くないかと思いますが、ここから中学校の学習内容（累乗や指数）に発展し、中学校の数学の内容に触れてみたいと思います。

ただこれは「序の口」。問題は次の問題2なのですが、これは当日まで非公開。先生方で関心のある方は、ぜひ6年生の教室に足を運んでみてください。

授業の最後では、最近話題の「解きたくなる数学」を紹介します。実はこの本、某番組の「本好き芸人」のコーナーで、カズレーザーさんに紹介され、現在多数書店に並んでいます（残念ながらビニルに包まれているので、中は見えません）。この本、一目で問題の意味が分かる、がコンセプトなので、写真を一度見られると売り上げに大きく影響するからでしょうか？

そして、17日にはもみじ学級さんで、授業をさせていただきます。題材は、今年ずっと観察してきた「ハクチョウ」と「みにくいアヒルの子」の作者アンデルセンについて紹介したいと思います。

これから本格的に年度末を控え、通信票作成、新学級編制、諸表簿作成など事務作業が連日続くものと思います。ただ、事務作業に追われ、目の前の子どもたちを見失うことがないように、見通しをもって生活していきましょう。

(文責：手代木)



### 場面

紙テープを半分に切ってみよう

### 問題 1

続けて5回半分に切ったらテープは何枚になるだろう